

# 北朝鮮核危機と日本

東京大学政策ビジョン研究センター講師 三浦 瑠麗

- \*トランプ政権は内政、経済重視の政権
- \*米国歴代政権にとって北朝鮮脅威とは
- \*見抜けなかった北朝鮮の核開発の真意
- \*複層するトランプ大統領の支持層
- \*少子高齢化の日本は分配重視になる
- \*北朝鮮の核保有で加速する周辺の核抑止戦略
- \*日本は北朝鮮に硬軟両政策で対応すべし
- \*韓・中の対日意識と外交政策のズレ
- \*米国なしでは東アジアで孤立する日本
- \*日本にシビリアンコントロールが不在の理由



**柴生田** それでは開会いたします。（拍手）

本日は東京大学政策ビジョン研究センターの三浦先生に来ていただきました。今回が3回目です。講演は私どもがほぼ先鞭をつけたようなことですが、お忙しい中、心よくお受けいただいております。ご存じのようにテレビ等でよくご覧になっているかと思いますが、東大で理系に入られて、その後、公共政策を学ばれて、今若手の論客のいちばん先頭にいるというところでございます。

今日は北朝鮮というタイトルもございますが、選挙も近いわけですから、当然日本の政治状況についてもお話をしていただけだと思います。安倍さんが国難突破というふうなことを言って、北朝鮮を選挙に利用して出てきたような面もあ

りますけれども、そういうことではどうもこの問題も収まらないし、かといって左翼的な発想では何も進まないわけで、この選挙が日本にとって今の時点でたいへんいい機会なのかどうか。最近の情勢を見ると疑問であります。そういうところも含めて今日はお話をさせていただきました。考えております。それでは三浦先生、よろしくお願いいたします。（拍手）

**トランプ政権は内政、経済重視の政権**

**三浦** ご紹介にあずかりました三浦でございます。お呼びいただき、ありがとうございます。た。よろしくお願いたしました。

3回目の講演に呼んでいただきました。実は1回目に講演をさせていただいたときには私は